



設備に強いオペレーター

自主保全士検定試験(1級・2級)

2011年度受験案内 -

試験実施日: 2011年10月2日(日)

申込み受付: 2011年7月1日(金)~7月29日(金)

企業会場受付: 2011年7月1日(金)~7月29日(金)

受験の申込方法が変わりましたのでご注意ください

1. 自主保全士とは

自主保全士とは

自主保全とは、生産システムの効率を高めるために、設備を使用するオペレーター自身が行う保全活動です。

これにより生産効率を阻害するロスを排除し、またそのための改善活動を進めることで、設備をあるべき姿に保つとともに、設備に強い人づくりにつながります。

社団法人日本プラントメンテナンス協会では、自主保全を行うオペレーターの知識と技能を正しく、かつ客観的に評価するため、「設備に強いオペレーター」として必要な4つの要件を規定し、検定試験および通信教育によって「自主保全士」を認定しています。

オペレーターに必要な4つの要件

設備の自動化・高度化が進む中、オペレーターには「モノづくり」だけにとどまらず、『自分の設備は自分で守る』ことが求められています。例えば、『異常を発見する力』、すなわち設備に関して“これはおかしいぞ！”と、異常をいち早く感じ取る能力があれば、自分で直すことができない場合でも素早く保全部門へ連絡し、不良や故障を未然に防ぐことができます。

このような『設備に強いオペレーター』にとって必要な能力として、次の4つを規定しています。

1. 異常を異常として見る目を持っていること（異常発見能力）
2. 異常に対して正しい処置が迅速にできること（処置・回復能力）
3. 正常や異常の判定基準を定量的に決められること（条件設定能力）
4. 決めたルールをきちんと守れること（維持管理能力）

自主保全士の意義

日本のモノづくりにおいて、オペレーターの質の高さこそがJAPANブランドを支える礎となっています。しかし、これまでオペレーターの知識と技能は、正しくかつ客観的な評価がなされてきたとは言い難いものでした。

このような状況の中、オペレーターのための資格として誕生した「自主保全士」の意義を、以下のように捉えています。

1. 企業内の主観的評価から、第三者の客観的評価に変わることで、オペレーターの知識と技能が公平に評価される
2. オペレーターが習得しなければならない知識と技能が明確化されることで、学習意欲を刺激し、知識と技能の向上に貢献する
3. 高度な製造環境に対応できるオペレーターを数多く輩出することが期待でき、質の高い労働人口が確保されることで、産業界（企業）の競争力強化を支援する

2. 検定試験について

自主保全士として目指す知識・技能

自主保全士は、知識・技能によって1級と2級にレベル分けして認定されます。

呼称	目指す知識・技能
1級自主保全士	職場チーム（小集団）における中心的・リーダー的な存在となり、自主保全を展開する上での計画・立案と、実践指導ができる
2級自主保全士	製造（生産）に関わる部門の一員として、自身の業務に従事しながら、自らが関わる設備や工程・作業について、自主保全を実践できる

受験資格

受験には、試験当日までに以下の実務経験を有している必要があります。

なお、学歴や他の資格による受験資格の制約、または優遇はありません。

受験級	実務経験年数
1級	4年以上 ⁽¹⁾
2級	実務経験は不要

1：生産・製造・保全などの業務に直接従事した場合のほか、スタッフとしてこれらの業務を支援した場合も含まれます。転職された場合、過去の実務経験年数を通算して構いません。

試験の形式

試験は、学科試験、実技試験ともにペーパー試験で実施します。

出題形式と問題数は以下のとおりです。

	1級	2級
学科試験	正誤判定（×式） 100問以内	
実技試験	多肢選択式+記述式 ⁽²⁾ 併用 計10課題程度	多肢選択式 計10課題程度

2：記述式問題では、計算、論述、作図・作表等の問題が出題されます。

試験時間

試験時間は、1級、2級ともに、学科試験 60分、実技試験 70分です。

学科、および実技試験の出題内容・範囲

出題内容・範囲は 12 ページの表のとおりです（2009 年度改訂）。
また、実技試験の出題課題は、8 月上旬に自主保全士公式サイトにて公開します。
(<http://www.jishuhozenshi.jp>)

合格基準

本年度より、合格基準を公開いたします。合格基準は以下のとおりです。

受験級	合格基準
1 級	100 点を満点として、原則として実技試験 75 点以上、
2 級	かつ学科試験 75 点以上を得点すること

- ・設問個々の配点等、採点に関わるお問合せには一切お答えできません。
- ・学科試験のみ、実技試験のみの合格認定は行いません。

受験手数料

受験にあたっては、以下の受験手数料が必要です。

1 級：8,400 円（税込み） 2 級：6,300 円（税込み）

お支払い方法により、別途手数料が必要です。

3 . 2011 年度試験要項

試験日・試験時間

試験日：2011年10月2日(日)

試験時間：

開場 13:00

学科試験(60分間)：13:30～14:30

実技試験(70分間)：14:50～16:00

試験会場には13:15までに入室し着席してください

試験開始時刻までに入室できない場合でも、試験開始後30分以内に入室できる場合は受験することができます。

申込受付期間

2011年7月1日(金)～7月29日(金)

今年度から申込方法を変更しました。詳しくは本受験案内の6ページをご覧ください。

検定試験の開催地(規定会場)

検定試験の開催地(規定会場)は、下記都市で実施する予定です。

地域	開催地(21都市)
北海道・東北	札幌市・山形市
関東	足利市・さいたま市・東京区部・横浜市
中部	大垣市・静岡市・浜松市・名古屋市・津市
甲信越・北陸	甲府市・諏訪市・三条市・金沢市
関西	彦根市・大阪市
中国・四国	岡山市・広島市
九州	福岡市・熊本市

試験開催地は、会場施設や受験者の申込状況によって変更になる場合があります。

仙台市、いわき市、水戸市の規定会場の設置について
<p>昨年度規定会場を設定した仙台市、いわき市、水戸市については、東日本大震災による関係機関の状況を鑑み、本年度は設定しないことといたしました。</p> <p>当地での受験を予定されていた方々には大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解くださいますようお願い申し上げます。</p> <p>なお、当地での受験を予定されている企業様については、企業会場設置基準の特例(本年度のみ)を設けました。詳しくは次ページ、および11ページをご覧ください。</p>

企業会場について

企業、または事業場の一括申込みで、1級・2級を合わせて30人以上の受験者がいる場合は、自社で設置する会場で試験を実施することができます。

企業会場のお申込み方法などについての詳しいことは9ページをご覧ください。

東日本大震災にともなう企業会場設置基準の特例について
仙台市、いわき市、水戸市の規定会場を設定しないことに対する措置として、青森県、岩手県、秋田県、宮城県、福島県、茨城県の6県内に所在地がある企業（事業場）が企業会場を設置する場合には、特例として設置基準を「10名以上の受験者がいる場合」に緩和いたします。

申込締切以降のスケジュール

日程（予定）	内容	備考
8月上旬	実技試験の出題課題の公開	自主保全士公式サイトにて
9月上旬	受験票の発送	
10月2日	（試験実施）	
11月11日	合格発表・成績優秀者公表	自主保全士公式サイトにて
11月上旬	合否通知・認定証書の発送	
11月上旬～	自主保全士章（バッジ）申込期間	

合格発表

合格発表は以下の手段・媒体にて行います。

手段・媒体	日程	公表内容
自主保全士公式サイト	11月11日(金)	・合格者の受験番号
「プラントエンジニア」 2011年12月号	11月27日発行	・合格者の受験番号 ・合格者氏名()

：氏名の公表を希望しない方は、事前にお申し出いただくことで、非掲載といたします。

成績優秀者の公表と表彰

合格者のうち特に優秀と認められた人を成績優秀者として以下のとおり公表するとともに、成績優秀者表彰状をお送りし顕彰します。

手段・媒体	日程	公表内容
自主保全士公式サイト	11月11日(金)	・成績優秀者の受験番号
「プラントエンジニア」 2011年12月号	11月27日発行	・成績優秀者の氏名() ・成績優秀者の所属企業名()

：氏名、または企業名の公表を希望しない場合は、事前にお申し出いただくことで非掲載といたします。

4 . 申込方法

団体申込みと個人申込み

受験の申し込み方法は、企業等で受験者と取りまとめて申し込む「団体申込み」と、受験者が個人で申し込む「個人申込み」があります。

団体申込みと個人申込みでは、受験する会場や受験料の決済方法等に以下の違いがあります。

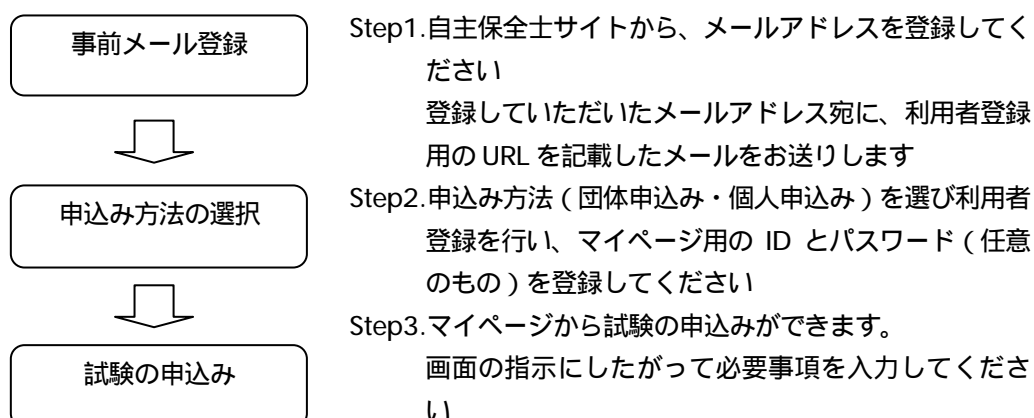
	団体申込み	個人申込み
申込み人数	1名以上で可	1名
受験会場	規定会場、または企業会場	規定会場のみ
企業会場の設置	受験者数 30 名以上で設置可 (青森県、岩手県、秋田県、 宮城県、福島県、茨城県につ いては、10 名以上)	不可
受験手数料の支払い方 法	請求書 (申込み締切り後、順次発送)	クレジットカード、またはコ ンビニ・ゆうちょ ATM 支払い
受験票の送付先	申込み責任者に一括	受験者本人
合否通知・認定証書の 送付先	申込み責任者に一括	受験者本人
得点分布データの提供	各級 20 名以上の場合に提供 (送付先は申込み責任者)	提供なし

お申込み手順の概略(1): 個人申込み・団体申込み共通

お申込みは Web システムから受け付けいたします。

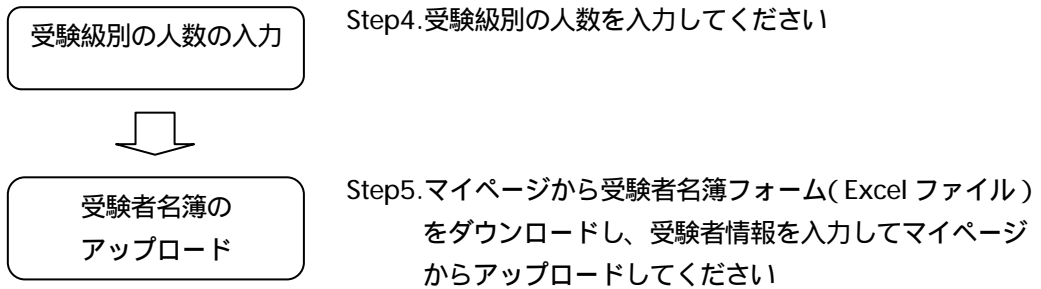
概略は以下のとおりです。

(お申込みいただくためには、インターネットに接続できるパソコン、およびパソコン用のメールアドレスが必要です)

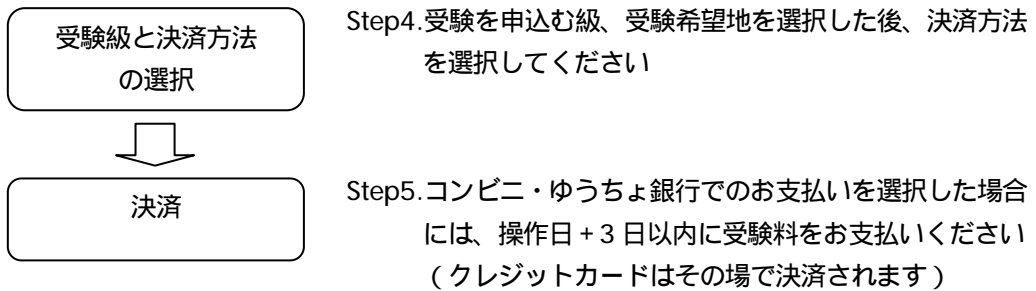


お申込み手順概略(2): 団体申込み

企業会場を設置される場合は、受験の申込みの前に9ページの「企業会場の設置申請の流れ」にしたがって企業会場の設置申請を行ってください



お申込み手順概略(3): 個人申込み



お支払いを確認しましたら、登録されたメールアドレス宛に受付完了のメールをお送りいたします。

お申込み手順の詳細については、自主保全士サイトでご案内いたします。

申込みの手順等で不明な点がございましたら、下記、受験サポートセンターまでお問合せください。

自主保全士検定試験に関するお問合せ
受験のお申込み方法・手順に関するご質問は 自主保全士検定試験 受験サポートセンター(7月1日以降 平日 10:00~17:00) TEL: 03-5209-0553 / E-mail: jishu2011@cbt-s.com 自主保全士検定は、(株)CBT ソリューションズに、受験者の問い合わせ等の事務業務の委託を行っております。
企業受験の設置やお申込み以外の試験全般に関するご質問は 自主保全士事務局(平日 9:30~17:00) TEL: 03-6409-2700 / E-mail: jishuhozenshi@jipm.or.jp

お支払いについて

【請求書支払い】 団体申込み場合のみ選択できます

団体受験の場合にご利用になれる方法です。

受験申込み締切後、順次申込み責任者宛てに請求書を発送いたします。

請求書到着後、すみやかに当会指定の銀行口座（請求書に記載）にお振込みください。

振込み手数料はご負担ください。

【クレジットカード】 個人申込みの場合のみ選択できます

クレジットカードの場合、お申込みと同時に決済（支払い）されます。

ご利用になれるクレジットカードは以下のとおりです。



【コンビニ・ゆうちょ銀行支払い】 個人申込みの場合のみ選択できます

コンビニ支払いをご選択の場合は、お支払い方法が続いて表示されますので、ご確認の上、申込後3日以内（操作日を含みません）にご指定の方法でお支払いください。

（画面に専用のお支払い番号が出ますのでそちらの番号をメモし、コンビニ店頭にて手続きを行う方式です。）

ご利用になれるコンビニエンスストアは以下のとおりです。



コンビニ・ゆうちょ銀行支払いの場合には、受験手数料とは別に決済手数料（210円）がかかります。

指定期間内にお支払いされなかった場合は、自動的に申込みはキャンセルされますが、マイページから再申込みを行うことができます。

5 . 企業会場の設置について

企業会場とは

企業、または事業場による団体申込みで、1級・2級を合わせて30名以上(注)の受験者がいる場合に、自主保全士事務局へ登録申込みを行うことで、自社の会議室等を企業会場として登録し試験を実施することができます。

自社で受験者数が30名に満たない場合等では、他社(他事業場)と共同開催にて企業会場を設置することも可能です。

なお、当会では共同開催の仲介は行っていませんのでご了承ください。

(注)今年度に限り特別措置があります。詳しくは11ページをご覧ください。

企業会場設置の条件(概要)

企業会場を設置する場合は、以下の基準を満たしている必要があります。

(1)受験者数

- ・企業・工場・企業グループ等で、受験者を取りまとめ、1級・2級合わせて30人以上の受験者がいること

(2)会場の環境

- ・設置する会場が試験を実施するための適正な環境(広さ、照明、騒音等)であること
- ・必要な什器(机・椅子等)・備品等が揃っていること

(3)試験運営担当者

- ・お申込企業様側から何名かの方(受験者以外)に試験運営のお手伝いをお願いできること

お手伝いいただく人数は、会場1部屋あたり2名以上で、140人を超える場合は70人につき1名ずつ増員していただく必要があります。

お申込企業様側で、試験運営者として必要な人員を確保できない場合は、当会にて試験運営者を手配いたします(有償)ので、自主保全士事務局にご相談ください。

検定委員を派遣します

企業会場には、試験が適正に実施されているかを管理・監督することを主なねらいとして、自主保全士事務局より原則として1名の検定委員を派遣いたします。

検定委員の派遣に関わる費用は無料です。

企業会場の申請

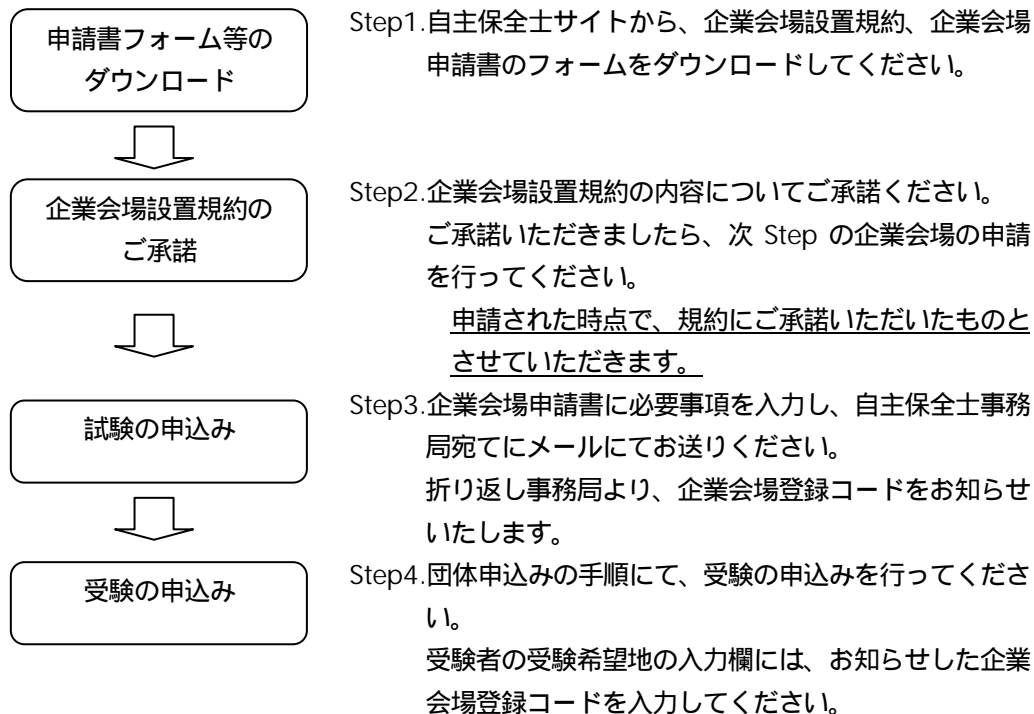
企業会場の設置を希望する場合は、受験申込みの前に自主保全士事務局宛てに企業会場の設置申請を行ってください。

企業会場の設置申請は、7月1日より受け付けます。

手順を次頁に示します。

企業会場の設置申請の流れ

企業会場の設置は以下の手順にて、自主保全士事務局にメールで申請してください。



< 共同開催の場合 >

複数の企業・事業場と共同で企業会場を設置する場合には、企業会場の設置申請は幹事役となる企業（事業場）様が代表して行ってください。

幹事会社以外の企業（事業場）様については、幹事会社様から企業会場登録コードをお知らせください。

企業会場の設置申請後、幹事会社のご担当者様以外からの企業会場登録コードのお問合せにはお答えできません。

今年度のみの特例措置について

今年度に限り、企業会場の設置・試験実施日に関して、特別措置を講じます。

詳しくは次ページ（11 ページ）をご覧ください。

6 . 今年度のみの特例措置について

東日本大震災による関係機関の状況を鑑み、試験実施については今年度に限り、以下の特別措置を講じます。

規定会場

昨年度規定会場を設定した仙台市、いわき市、水戸市については、東日本大震災による関係機関の状況を鑑み、本年度は設定いたしません。

当地区にて受験を予定されている企業様については、企業会場設置基準の特例を設けました（次項を参照してください）。

企業会場設置基準の特例

仙台市、いわき市、水戸市の規定会場を設定しないことに対する措置として、青森県、岩手県、秋田県、宮城県、福島県、茨城県の 6 県内に企業会場を設置する場合に限り、受験者数の要件を「10 名以上の受験者がいる場合」に緩和いたします。

受験日（試験日）の変更（企業会場のみ）

企業会場を申込んだ企業が、節電を目的としたいわゆる「輪番操業」を実施し、正規の受験日（10月2日）に試験を実施できない場合に限り、10月2日（日）～8日（土）の期間内の任意の1日に試験日を変更して実施することができます。

試験日の変更については、事前に申請していただくこととなりますが、その申請の期限等については、別途、自主保全士公式サイト等にてお知らせいたします。

7. 試験の出題内容・範囲

(1/4) 概略：概略的な知識を有すること 一般：一般的な知識を有すること 詳細：詳細な知識を有すること

科目	項目	細目	2級	1級
設備の日常保全 (自主保全全般)	A.自主保全の基礎知識	1.自主保全の考え方	一般	詳細
		2.運転と自主保全の役割		
		3.自主保全の進め方		
		4.活動目標の立て方		
		5.成功のポイント		
		6.活動時間		
		7.小集団活動の進め方		
	B.自主保全活動支援ツール	1.活動板	一般	詳細
		2.ワンポイントレッスン		
		3.ミーティング		
		4.エフ		
		5.目で見る管理		
		6.定点撮影・マップ 他		
		7.自主保全診断		
		8.モデル展開	概略	
	C.事前準備(モデルライン活動)	1.概要とねらい	対象外	概略
		2.展開方法		
	D.初期清掃	1.初期清掃と基本条件の整備 (清掃・給油・増締め)	一般	詳細
		2.初期清掃の考え方 (慢性ロス・復元の考え方・微欠陥含む)		
		3.不具合・発生源・清掃困難個所の摘出		
		4.安全対策		
		5.初期清掃の効果測定	対象外	概略
	E.発生源・困難個所対策	1.発生源・困難個所対策のねらい	一般	詳細
		2.発生源対策		
		3.清掃・給油・点検困難個所対策		
		4.安全対策		
		5.専門保全からの指導援助		
		6.発生源・困難個所対策の効果測定	対象外	概略
	F.自主保全仮基準書の作成	1.守れる条件整備	一般	詳細
		2.自主保全仮基準書の作成		
		3.安全対策		
		4.専門保全からの指導援助		
5.自主保全仮基準書作成の効果測定		対象外	概略	
G.総点検	1.総点検の目的	一般	詳細	
	2.総点検のねらい			
	3.総点検の教育(マニュアル、チェックシート含む)			
	4.総点検の実施			概略
	5.異常の顕在化と復元			
	6.点検仮基準書の作成			
	7.点検スキルチェック			
	8.総点検の効果測定	対象外		概略
H.自主点検	1.自主点検のねらいと進め方	概略	詳細	
	2.自主保全基準の見直し			
	3.点検時間・方法の改善			
	4.保全との役割分担の明確化			対象外

(2/4) 概略：概略的な知識を有すること 一般：一般的な知識を有すること 詳細：詳細な知識を有すること

科目	項目	細目	2級	1級
生産の基本	A.5S	1.5Sに関する知識	一般	詳細
	B.品質	1.品質管理の基本 (PDCA、5W1H、PQCDSME、三現主義等含む)	一般	詳細
		2.QC手法 (特性要因図、パレート図、グラフ、チェックシート、ヒストグラム、散布図、管理図)	対象外	概略
		3.新QC手法 (親和図法(KJ法)、連関図法、系統図法、マトリックス図法、アローダイアグラム法)	概略	詳細
		4.抜き取り検査・全数検査	対象外	概略
		5.工程能力		
		6.QC工程表		
		7.品質保全・8の字展開		
		8.ISO		
	C.安全衛生	1.TPMと安全に関する考え方	一般	詳細
		2.ヒューマンエラー		
		3.本質安全化 (フェイルセーフ・フールプルーフ)		
		4.安全衛生点検の目的と種類		
		5.KYT(危険予知トレーニング)		
		6.指差呼称		
		7.ヒヤリハット・ハインリッヒの法則	一般	一般
		8.作業の安全(保護具、緊急措置等)		
		9.工作機械作業における安全		
		10.電気機器扱い作業の安全		
		11.搬送機取扱いに関する安全		
		12.安全パトロール		
		13.管理効果の測定(指標)		
	D.工程管理	1.作業標準	対象外	概略
		2.作業管理(作業手順と指示)	概略	一般
		3.生産管理・進捗管理		
	E.職場のモラル	1.メンバーシップ	一般	詳細
		2.リーダーシップ	概略	詳細
	F.教育訓練	1.OJTとOff-JT	概略	詳細
		2.自己啓発		
		3.伝達教育		
		4.教育計画	対象外	一般
		5.スキル評価		
6.教育訓練体系				
G.労務管理	1.現場の管理	概略	詳細	
	2.時間管理(勤務・出勤時間等)			
	3.年次有給休暇			
H.環境管理	1.公害の基礎知識	概略	一般	
	2.ゼロエミッション			
	3.3Rの促進・分別回収			
	4.環境マネジメントシステム	対象外		

(3/4) 概略：概略的な知識を有すること 一般：一般的な知識を有すること 詳細：詳細な知識を有すること

科目	項目	細目	2級	1級
効率化の考え方とロスの捉え方	A.TPMの基礎知識	1.TPMの生い立ち・定義	概略	一般
		2.TPMの基本理念		
		3.TPMのねらい・特色・効果		
		4.TPM活動の8本柱		
	B.設備総合効率 ・プラント総合効率	1.設備総合効率・プラント総合効率	一般	詳細
		2.時間稼働率		
		3.性能稼働率		
		4.良品率		
	C.ロスの考え方	1.生産活動の効率化を阻害するロス	一般	詳細
		2.設備の効率化を阻害するロス		
		3.人の効率化を阻害するロス		
		4.原単位の効率化を阻害するロス		
	D.故障ゼロの考え方	1.自然劣化と強制劣化	一般	詳細
		2.故障・故障モード・故障メカニズム		
		3.故障解析の意味	対象外	
		4.パスタブ曲線	概略	
		5.LCC	対象外	
		6.MTBF・MTTR	概略	
		7.故障度数率・故障強度率	対象外	
		8.信頼性・保全性	概略	
E.保全方式	1.BM(事後保全)	概略	一般	
	2.PM(予防保全)			
	3.TBM(時間基準保全)			
	4.CBM(状態基準保全)	概略		
	5.CM(改良保全)			
	6.MP(保全予防)・MP情報			
改善・解析の知識	A.改善・解析手法	1.QCストーリー・改善手順	一般	詳細
		2.なぜなぜ分析		
		3.PM分析	概略	
		4.作業改善のためのIE (改善の原則ECRS、動作研究、 動作経済の原則、ラインバランス分析)		
		5.VE・VA		
		6.FTA・FMEA		
			一般	

(4/4) 概略：概略的な知識を有すること 一般：一般的な知識を有すること 詳細：詳細な知識を有すること

科目	項目	細目	2級	1級
日常保全の基礎	A.締結部品	1.締結部品全般	一般	詳細
		2.ボルト・ナットの機能		
		3.ワッシャー・キー・コッターと点検ポイント		
		4.緩み止め		
	B.潤滑	1.潤滑の種類と機能	一般	詳細
		2.潤滑剤の劣化	概略	
		3.潤滑機器の点検(潤滑状態・漏れなど)	概略	
		4.潤滑管理の必要性・油種統一など	概略	
	C.空圧	1.空気圧の特徴	一般	詳細
		2.空気圧装置の基本構成	概略	
		3.空気圧機器の機能と点検ポイント	概略	
		4.空気圧機器の特徴と保全	概略	
	D.油圧	1.油圧の特徴	概略	詳細
		2.油圧装置の基本回路と構成		
		3.油圧機器の機能と点検ポイント		
		4.油圧配管のトラブルと点検ポイント		
	E.駆動・伝達	1.駆動・伝達機器の種類と点検のポイント	一般	詳細
		2.駆動・伝達機器の劣化		
		3.駆動・伝達装置の取扱いと保全		
	F.電気	1.電気とは(種類・アースと漏電・測定ほか)	一般	詳細
		2.電気機器の構成(回路図)と保全	概略	
		3.検出機器(センサー)の保全のポイント		
	G.測定機器	1.測定機器の原理と測定方法	一般	詳細
	H.改善作業に使用する機器・材料	1.金属の切断・結合と溶接	概略	一般
		2.電動工具、その他の工具		
		3.改善に必要な材料		
	I.図面の見方	1.投影法	概略	一般
		2.線の種類と用途		
3.寸法記入法				
4.面の粗さと仕上げ記号				
5.寸法の許容限界				

8 . よくあるご質問

自主保全士制度について

質問 技能検定の「機械保全技能士」と「自主保全士」の違いは何ですか？

答え 自主保全士は、自主保全や設備・機械要素の知識だけでなく、品質・安全・工程・環境管理などの「生産の基本」や「効率化・ロスの考え方」、「改善・解析手法」など、「現場のオペレーター」として必要な幅広い知識・技能を問うものです。とくに、自主保全（オペレーターとして持つべき保全の機能）を重視しており、日常保全、突発故障の早期発見・処置・連絡、日常保全に関わる改善活動などの知識が求められます。

機械保全技能士は、「保全全般に関わる」専門的な技術・技能を深く問うものですが、自主保全士で扱う保全とは、主に「日常保全を行う上で必要な」保全に範囲が限定されており、具体的には点検管理のポイントがわかり、簡単な部品交換ができる程度の知識が必要となります。

受験資格について

質問 1級を受験するには2級に合格している必要がありますか？

答え 2級に合格していなくても4年以上の実務経験があれば1級を受験できます。

質問 2級に合格しているのに実務経験が4年以下でも1級を受験することはできますか？

答え 2級に合格していても、1級の受験には4年以上の実務経験が必要です。

申込み手続きについて

申込み

質問 インターネットで申込み方法ですが、携帯電話から申込みことはできますか？

答え お申込みに携帯電話を使用することはできません。パソコンをご使用ください。

質問 事前のメール登録を行いました、確認のメールが届きませんか？

答え 登録したメールアドレスが誤っていたか、迷惑メールとして隔離されている可能性が考えられますので、アドレスや迷惑メールを確認してください。

それでも問題が解決しない場合は、受験サポートセンター（TEL：03-5209-0553）にお問合せください。

受験サポートセンターは7月1日に開設いたします。

企業会場について

質問 自社では30名の受験者が揃わないのですが、他社と共同で企業会場を設置したいのですが、近隣の企業を紹介してもらえますか？

答え 自主保全士事務局では、紹介（仲介）はできません。

質問 個人で受験（個人申込み）するのですが、企業会場で受験できますか？

答え 個人での申込みの場合は規定会場での受験になります。

質問 1つの会場（部屋）で1級と2級の試験を実施しても良いのですか？

答え 1級と2級の受験者は同じ会場で試験を実施できます。

実施にあたっては、問題用紙・解答用紙の混在や配付・回収ミスがないように席配置等の工夫をお願いいたします

質問 企業会場には、自主保全士事務局から検定員が派遣されるということですが、受験料以外の費用はかかりますか？

答え 検定員の費用(日当、交通・宿泊費など)は一切負担していただく必要はありません。ただし、企業会場として外部の施設を使用した場合等、会場費用等は企業側でご負担ください。

受験票について

質問 受験申込みの締切り後、受験票が送られてくるのはいつごろですか？

答え 受験票は9月上旬に申込み責任者あて（個人申込みの方は本人あて）に発送します。9月14日を過ぎてもお手元に届いていない場合は、申込み責任者、または自主保全士事務局までお問い合わせください。

質問 企業会場で受験する場合でも受験票に写真を貼る必要はありますか？

答え 受験票は試験の当日回収し、台帳として保管しますので、企業会場で受験する場合でも写真を貼ってください。

質問 試験当日に受験者が出席できなくなった場合、代理の受験者が受験票の氏名を訂正して受験することができますか？

答え 事前にお申し出をいただいても、受験者の変更は認められません。

事前の学習について

質問 受験対策用のテキストなどがありますか？

答え 自主保全士検定試験につきましては、いわゆる「公式テキスト」と言われるものはありません。

参考書として、(株)JIPM ソリューションから、「(新版)自主保全士検定試験『傾向と対策(学科&実技)』」、2011年度版「自主保全士学科問題集」・「自主保全士実技問題の解説」が発行される予定です。

詳しいことは、(株)JIPM ソリューション(TEL.03-6409-0352)に直接お問合せください。

(株)JIPM ソリューション 書籍販売サイト：<http://e-rescue.jipms.jp/>

質問 受験対策用の講座は開催されますか？

答え 講習会として、「自主保全士検定試験 受験準備講座」を8月下旬から9月上旬にかけて全国各地で開催いたします。

学科対策中心の講座と実技対策中心の講座に分かれて開催いたします。

受験講座の受講には、別途お申込みが必要です。

問合せ先：(社)日本プラントメンテナンス協会(TEL.03-6409-2700)

当日の受験について

質問 都合により試験を欠席する場合、欠席の連絡をする必要がありますか？

答え 事前に欠席することが判明しても、事務局にご連絡いただく必要はありません。

質問 実技試験では、工具類を使用するのですか？

答え 実技試験でも、工具等は使用しません。筆記用具、定規、電卓等を使用します。

当日持参するものは9月に届く受験票の裏面「当日の持ち物」にて確認してください。

身体障がいの方の受験について

質問 目や耳、肢体の不自由な方の受験は可能ですか？

また、申込みはどのようにすれば良いでしょうか？

答え 障がいの程度や会場により異なります。必要に応じて特別対応をいたしますので、詳しくは自主保全士事務局にお問合せください。

個人情報の取扱いについて

質問 個人情報の取扱いは？

答え 受験申込書などにご記入いただいた個人情報は、本検定試験の運営・管理に利用いたします。また、後日小会および、関連法人のサービス・講座などのご案内を送付させていただきます場合がございます。

小会は、ご提供いただいた個人情報を小会のプライバシーポリシーに則って安全対策を施し、適切に管理いたします。

小会のプライバシーポリシー、個人情報の開示・訂正・削除などの詳細については、小会HP (<http://www.jipm.or.jp/privacy.html>) をご覧ください。

なお、本検定試験に関する業務の一部については、効率的かつ迅速な業務遂行等の観点から、株式会社シー・ビー・ティ・ソリューションズ、大和コンピューターサービス株式会社に委託しています。

委託先につきましても、個人情報の取扱いについてはプライバシーポリシー規定に則った業務を行っておりますが、小会といたしましても、個人情報にかかる安全確保の措置等について、個人情報保護に関する法令の要請を受け、万全の対策を求めています。

また、委託先との契約書においても、個人情報や機密情報について厳重な取扱を定めております。

自主保全士検定試験に関するお問合せ先

企業会場の設置に関するお問合せ / お申込み先

自主保全士事務局（平日 9 : 30 ~ 17 : 00）

TEL : 03-6409-2700 / E-mail : jishuhozenshi@jipm.or.jp

受験のお申込み方法・手順に関するお問合せ先

自主保全士検定試験 受験サポートセンター（7月1日以降 平日 10 : 00 ~ 17 : 00）

TEL : 03-5209-0553 / E-mail : jishu2011@cbt-s.com

お申込み以外の試験全般に関するお問合せ先

自主保全士事務局（平日 9 : 30 ~ 17 : 00）

TEL : 03-6409-2700 / E-mail : jishuhozenshi@jipm.or.jp

自主保全士検定試験の参考図書に関するお問合せ先

（株）JIPM ソリューションズ

TEL : 03-6409-0352

書籍購入サイト : <http://e-rescue.jipms.jp/>

自主保全士検定試験準備講座に関するお問合せ先

自主保全士事務局（平日 9 : 30 ~ 17 : 00）

TEL : 03-6409-2700 / E-mail : jishuhozenshi@jipm.or.jp

自主保全士検定公式サイト

<http://www.jishuhozenshi.jp/>